

2018 年度前期
「授業改善のための学生アンケート」 結果報告書

白百合女子大学

目 次

1. 2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要	
① 目的	1
② 実施概要	1
③ 実施方法	1
④ 設定項目	2
⑤ アンケート用紙	3
⑥ 実施科目数	3
2. 2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」 集計結果	
① 学部	4
② 大学院	9
3. 2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」 みなさんの声に応えて	
① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ	14
② 大学院科目 授業担当教員からのメッセージ	17
③ FD推進委員会からのメッセージ	18
4. 2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業	
① 顕彰授業	19
② 顕彰授業における工夫	19

1. 2018 年度前期「授業改善のための学生アンケート」 実施目的・概要

① 目的

- 1) さまざまな角度から学生の反応・実態を知ること、個々の授業の授業内容・教授方法等を、教員自身が見直し改善するための材料を提供する。あくまで教員の自発的な取り組みを助けるものであり、いかなる形においても、教員の評価・査定の資料とするものではない。
- 2) 設備や機材、資料など、学習に適した環境を大学がどの程度提供できているかを測定し、これを改善していくための材料を得る。
- 3) 学生が学びたい内容を適切なレベルできちんと教授できているかを知り、大学全体、あるいは学科や学年ごとのカリキュラム内容を、必要に応じて改善していくための材料を得る。
- 4) 科目に対する学生の意欲や、授業時間外での学習の実態を把握することで、カリキュラムが想定している努力を学生が傾けているかを測定し、必要に応じて改善の方法を探るための材料を得る。
- 5) 学生に対して、自らの学習のあり方を見直し、大学での学習をより実りあるものとするための材料を提供する。

② 実施概要

実施期間：2018年7月17日（火）～8月6日（月）

実施対象：原則としてすべての前期科目

※ただし、履修人数が5名以下の授業や、授業形態から考えて調査実施が困難な授業などについては、担当教員の申出により、調査対象科目から除外する。

調査方式：無記名式マークシート、自由記述欄あり（p.3 参照）

※学部・大学院統一フォーム

調査所要時間：約 15 分

③ 実施方法

- 1) 授業開始前に、授業担当教員は教務課でアンケート用紙の入った封筒を受け取る。
- 2) 授業終了の15分前を目安に、履修学生にアンケート用紙を配布する。
- 3) 任意で設定できる質問項目欄を使用する場合、あらかじめ用意してきた「学生に答えてほしい質問内容」を、口頭あるいは板書で学生に周知する。
- 4) 授業担当教員は、学生に対し実施目的をよく読み、回答を行うように指示する。
- 5) 学生がアンケートを記入している間は、授業担当教員は机間巡視等、必要以上に教室内を移動することで学生の記入の妨げにならないよう注意する。

- 6) 授業担当教員は、受講人数に応じた数の回収担当学生を指名し、終了時刻と同時にアンケート用紙を回収させ、所定の袋に入れ封をするよう指示をする。
- 7) 授業終了後、授業担当教員または回収担当学生は教務課にアンケート用紙を回収した厳封済みの袋を提出する。

④ 設問項目

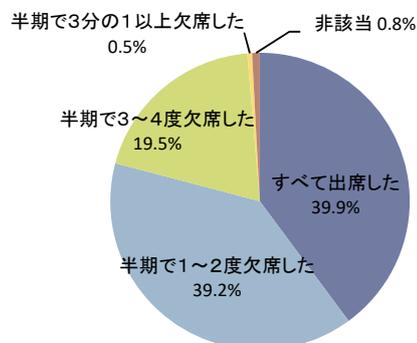
- Q1 この授業にどの程度出席しましたか。
- Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。
- Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたと思いますか。
- Q4 この授業の内容を十分に習得できたと思いますか。
- Q5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。
- Q5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)
- Q6 教員の話は聞き取りやすかったですか。
- Q7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。
- Q8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。
- Q9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。
- Q10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。
- Q11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。
- Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。
- Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。
- Q14 この授業の進度は適切でしたか。
- Q15 この授業の難易度は適切でしたか。
- Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。
- Q17 教室の設備は適切でしたか。
- Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。
- Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。
- Q20 この授業について、良かった点、改善してほしい点などを自由に記述してください。
- Q21 この授業を受講して、あなた自身が学んだこと、反省していることなどを、自由に記述してください。
- Q22 (教員より指示があった場合のみ記述してください)
- Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。

2. 2018年度前期「授業改善のための学生アンケート」の集計結果

① 学部

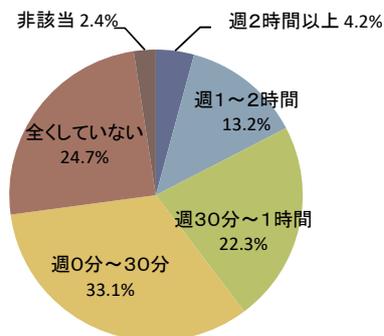
Q1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	5,395	39.9%
2	半期で1～2度欠席した	5,305	39.2%
3	半期で3～4度欠席した	2,641	19.5%
4	半期で3分の1以上欠席した	71	0.5%
5	非該当	111	0.8%
	合計	13,523	



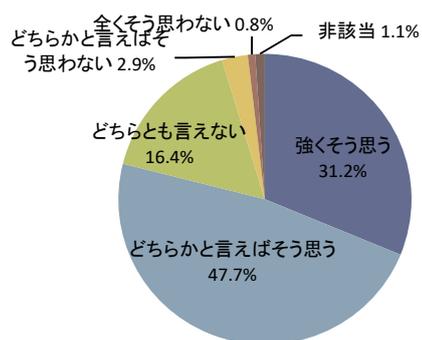
Q2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	564	4.2%
2	週1～2時間	1,785	13.2%
3	週30分～1時間	3,021	22.3%
4	週0分～30分	4,481	33.1%
5	全くしていない	3,344	24.7%
6	非該当	328	2.4%
	合計	13,523	



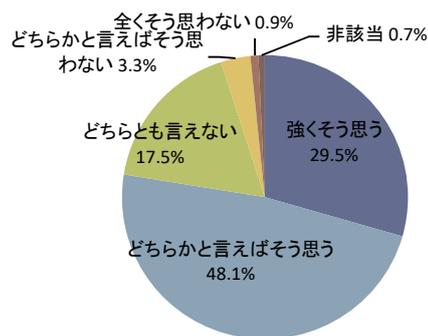
Q3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,222	31.2%
2	どちらかと言えばそう思う	6,450	47.7%
3	どちらとも言えない	2,213	16.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	387	2.9%
5	全くそう思わない	106	0.8%
6	非該当	145	1.1%
	合計	13,523	



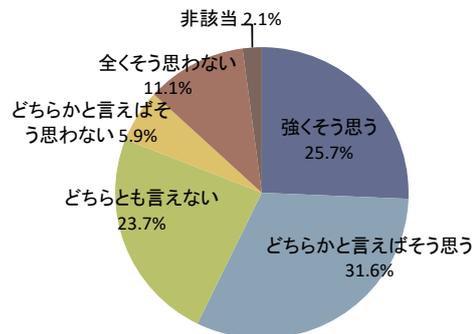
Q4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,986	29.5%
2	どちらかと言えばそう思う	6,502	48.1%
3	どちらとも言えない	2,365	17.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	449	3.3%
5	全くそう思わない	124	0.9%
6	非該当	97	0.7%
	合計	13,523	



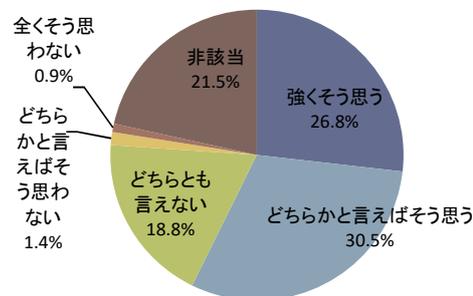
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,470	25.7%
2	どちらかと言えばそう思う	4,270	31.6%
3	どちらとも言えない	3,210	23.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	793	5.9%
5	全くそう思わない	1,496	11.1%
6	非該当	284	2.1%
	合計	13,523	



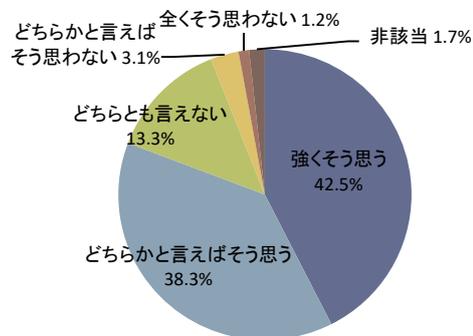
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,625	26.8%
2	どちらかと言えばそう思う	4,123	30.5%
3	どちらとも言えない	2,543	18.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	195	1.4%
5	全くそう思わない	124	0.9%
6	非該当	2,913	21.5%
	合計	13,523	



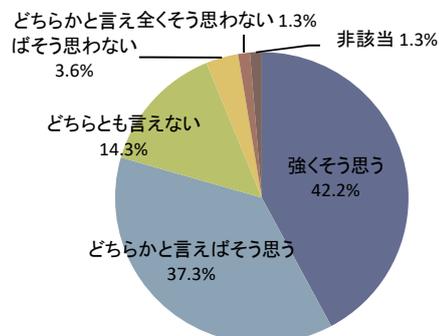
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,750	42.5%
2	どちらかと言えばそう思う	5,173	38.3%
3	どちらとも言えない	1,792	13.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	415	3.1%
5	全くそう思わない	157	1.2%
6	非該当	236	1.7%
	合計	13,523	



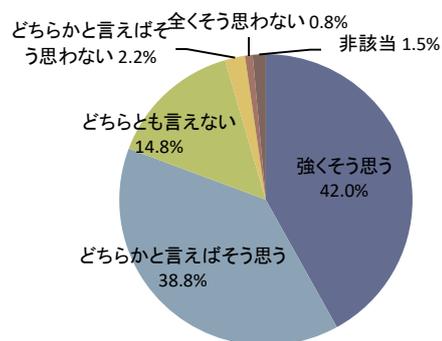
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,704	42.2%
2	どちらかと言えばそう思う	5,043	37.3%
3	どちらとも言えない	1,940	14.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	483	3.6%
5	全くそう思わない	176	1.3%
6	非該当	177	1.3%
	合計	13,523	



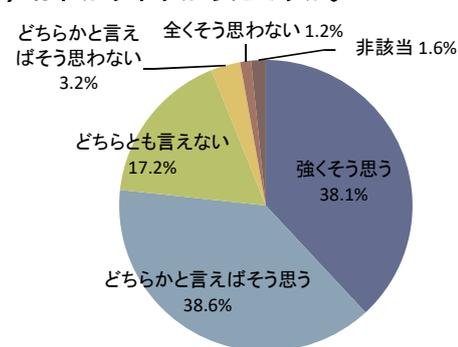
Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,674	42.0%
2	どちらかと言えばそう思う	5,244	38.8%
3	どちらとも言えない	1,997	14.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	300	2.2%
5	全くそう思わない	111	0.8%
6	非該当	197	1.5%
	合計	13,523	



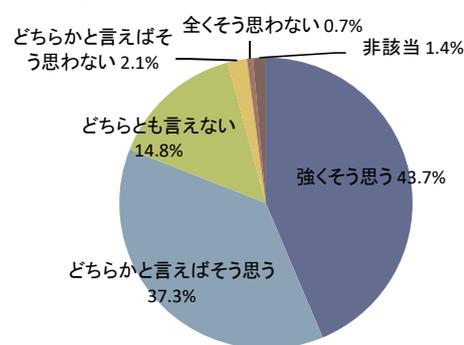
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,155	38.1%
2	どちらかと言えばそう思う	5,219	38.6%
3	どちらとも言えない	2,331	17.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	435	3.2%
5	全くそう思わない	165	1.2%
6	非該当	218	1.6%
	合計	13,523	



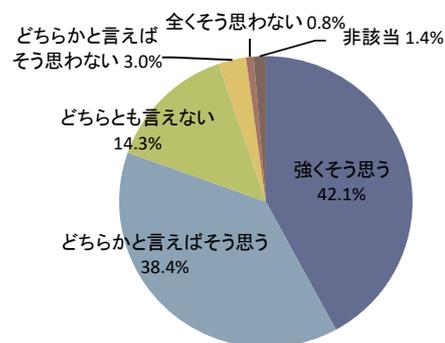
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,908	43.7%
2	どちらかと言えばそう思う	5,047	37.3%
3	どちらとも言えない	1,999	14.8%
4	どちらかと言えばそう思わない	287	2.1%
5	全くそう思わない	90	0.7%
6	非該当	192	1.4%
	合計	13,523	



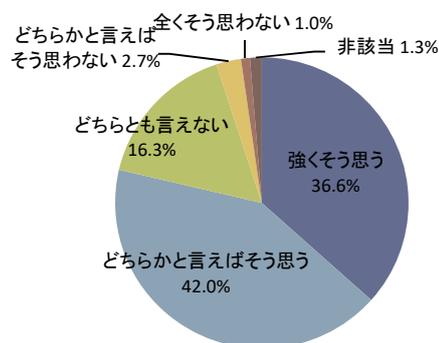
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,690	42.1%
2	どちらかと言えばそう思う	5,192	38.4%
3	どちらとも言えない	1,938	14.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	408	3.0%
5	全くそう思わない	111	0.8%
6	非該当	184	1.4%
	合計	13,523	



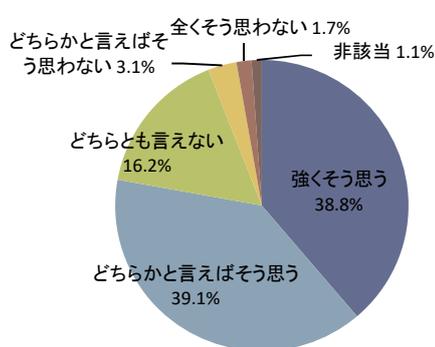
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,954	36.6%
2	どちらかと言えばそう思う	5,681	42.0%
3	どちらとも言えない	2,211	16.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	365	2.7%
5	全くそう思わない	133	1.0%
6	非該当	179	1.3%
	合計	13,523	



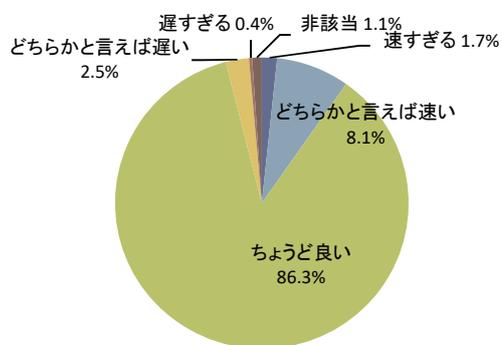
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,243	38.8%
2	どちらかと言えばそう思う	5,285	39.1%
3	どちらとも言えない	2,191	16.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	425	3.1%
5	全くそう思わない	226	1.7%
6	非該当	153	1.1%
	合計	13,523	



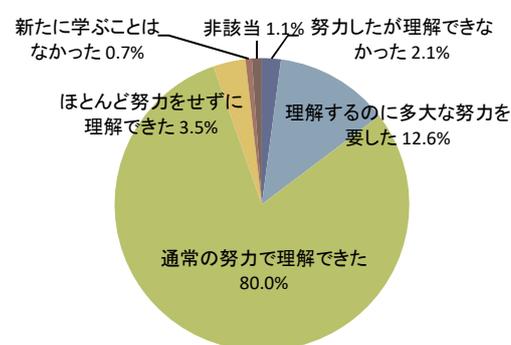
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	224	1.7%
2	どちらかと言えば速い	1,092	8.1%
3	ちょうど良い	11,671	86.3%
4	どちらかと言えば遅い	343	2.5%
5	遅すぎる	49	0.4%
6	非該当	144	1.1%
	合計	13,523	



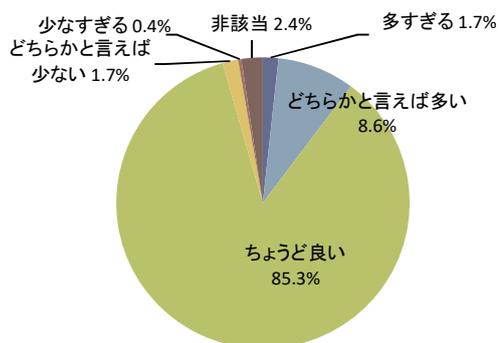
Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	努力したが理解できなかった	281	2.1%
2	理解するのに多大な努力を要した	1,701	12.6%
3	通常の努力で理解できた	10,821	80.0%
4	ほとんど努力をせずに理解できた	478	3.5%
5	新たに学ぶことはなかった	92	0.7%
6	非該当	150	1.1%
	合計	13,523	



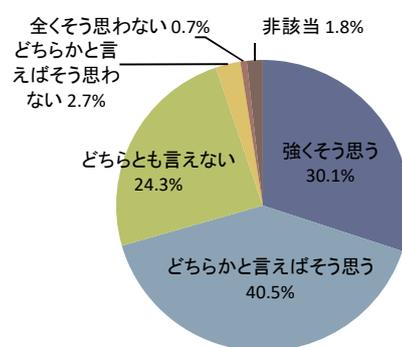
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	228	1.7%
2	どちらかと言えば多い	1,158	8.6%
3	ちょうど良い	11,536	85.3%
4	どちらかと言えば少ない	232	1.7%
5	少なすぎる	51	0.4%
6	非該当	318	2.4%
	合計	13,523	



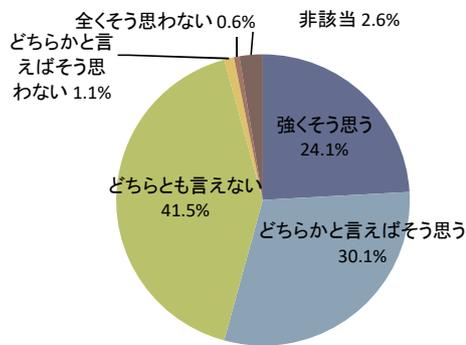
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	4,065	30.1%
2	どちらかと言えばそう思う	5,473	40.5%
3	どちらとも言えない	3,282	24.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	369	2.7%
5	全くそう思わない	93	0.7%
6	非該当	241	1.8%
	合計	13,523	



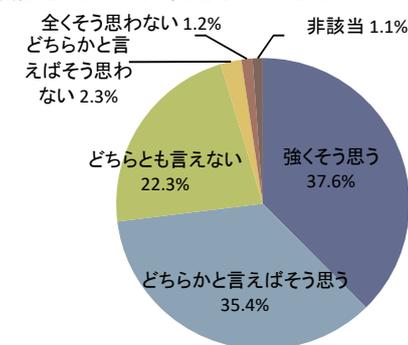
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	3,260	24.1%
2	どちらかと言えばそう思う	4,077	30.1%
3	どちらとも言えない	5,610	41.5%
4	どちらかと言えばそう思わない	148	1.1%
5	全くそう思わない	80	0.6%
6	非該当	348	2.6%
	合計	13,523	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

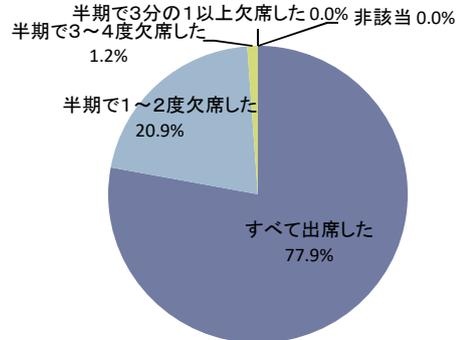
No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	5,087	37.6%
2	どちらかと言えばそう思う	4,791	35.4%
3	どちらとも言えない	3,015	22.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	312	2.3%
5	全くそう思わない	164	1.2%
6	非該当	154	1.1%
	合計	13,523	



② 大学院

Q 1 この授業にどの程度出席しましたか。

No.	Category	度数	%
1	すべて出席した	67	77.9%
2	半期で1～2度欠席した	18	20.9%
3	半期で3～4度欠席した	1	1.2%
4	半期で3分の1以上欠席した	0	0.0%
5	非該当	0	0.0%
	合計	86	



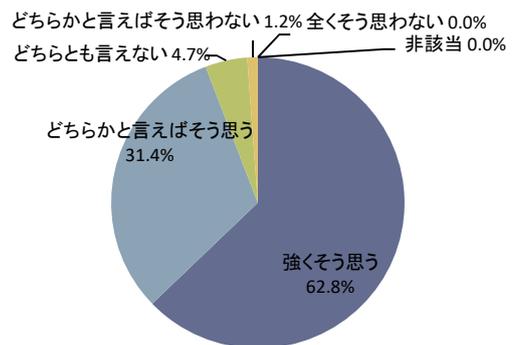
Q 2 (大学院科目対象外) 授業以外の学習(予習復習、レポート作成、自主的な関連学習など)に、平均してどの程度時間をかけましたか。

No.	Category	度数	%
1	週2時間以上	0	
2	週1～2時間	0	
3	週30分～1時間	0	
4	週0分～30分	0	
5	全くしていない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

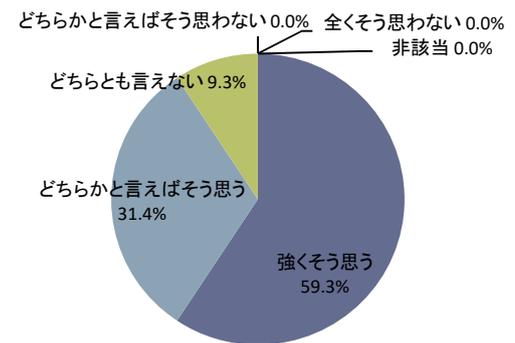
Q 3 この授業に主体的に取り組むことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	54	62.8%
2	どちらかと言えばそう思う	27	31.4%
3	どちらとも言えない	4	4.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	1.2%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



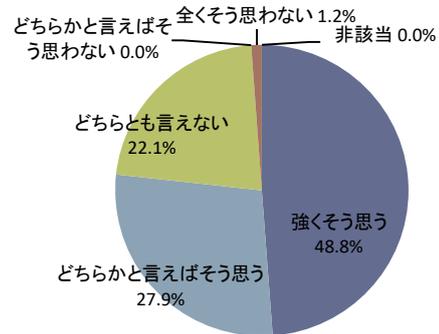
Q 4 この授業の内容を十分に習得できたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	51	59.3%
2	どちらかと言えばそう思う	27	31.4%
3	どちらとも言えない	8	9.3%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



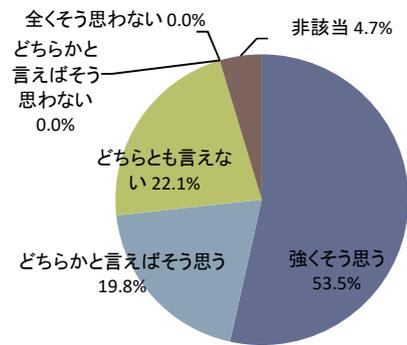
Q 5① この授業のシラバスを事前にしっかり読みましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	42	48.8%
2	どちらかと言えばそう思う	24	27.9%
3	どちらとも言えない	19	22.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	1	1.2%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



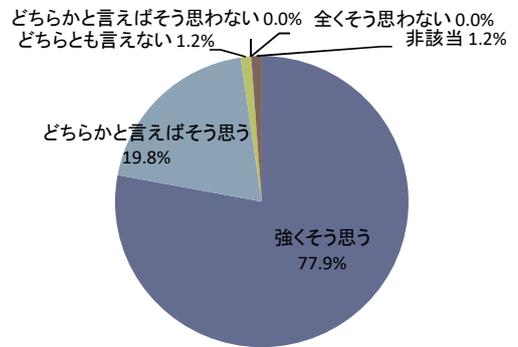
Q 5② この授業の内容はシラバスに沿ったものでしたか。(シラバスを読んだ人のみ)

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	46	53.5%
2	どちらかと言えばそう思う	17	19.8%
3	どちらとも言えない	19	22.1%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	4	4.7%
	合計	86	



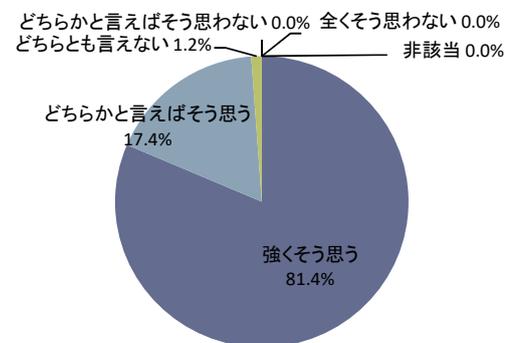
Q 6 教員の話は聞き取りやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	67	77.9%
2	どちらかと言えばそう思う	17	19.8%
3	どちらとも言えない	1	1.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	1	1.2%
	合計	86	



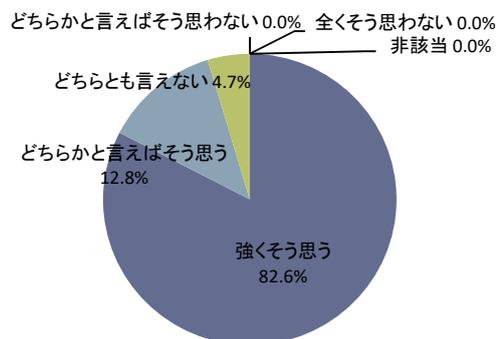
Q 7 教員の説明の仕方はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	70	81.4%
2	どちらかと言えばそう思う	15	17.4%
3	どちらとも言えない	1	1.2%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



Q 8 教科書や配付資料など、教材は適切だったと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	71	82.6%
2	どちらかと言えば思う	11	12.8%
3	どちらとも言えない	4	4.7%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



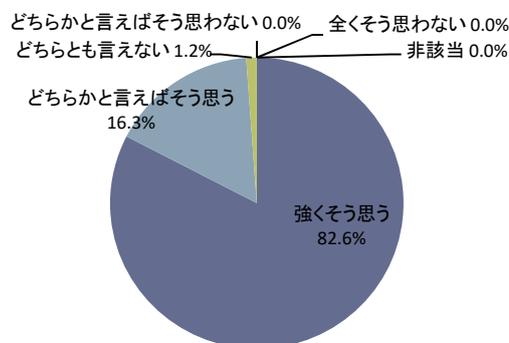
Q 9 (大学院科目対象外) 板書(パワーポイント等も含む)はわかりやすかったですか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	0	
2	どちらかと言えば思う	0	
3	どちらとも言えない	0	
4	どちらかと言えば思わない	0	
5	全く思わない	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

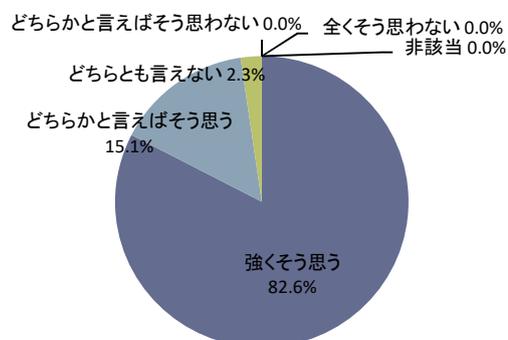
Q 10 学生の質問や相談に対して、教員は適切に対応していたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	71	82.6%
2	どちらかと言えば思う	14	16.3%
3	どちらとも言えない	1	1.2%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



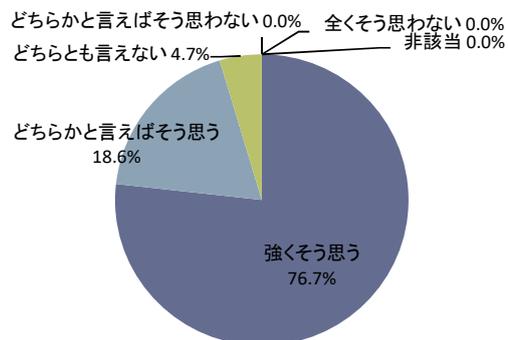
Q 11 教員の説明や指示は教室全体に正確に行き届いていたと思いますか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	71	82.6%
2	どちらかと言えば思う	13	15.1%
3	どちらとも言えない	2	2.3%
4	どちらかと言えば思わない	0	0.0%
5	全く思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



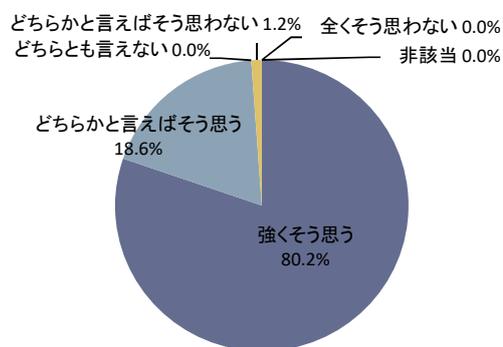
Q12 この授業の目的や到達目標を十分に理解できましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	66	76.7%
2	どちらかと言えば思う	16	18.6%
3	どちらとも言えない	4	4.7%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



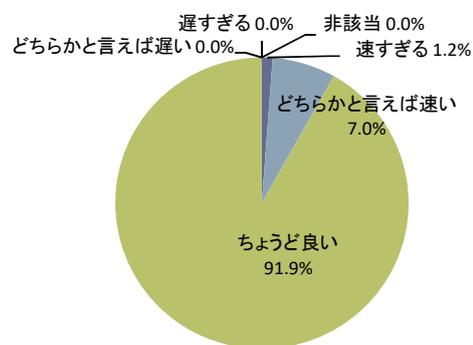
Q13 この授業の内容に興味を持つことができましたか。

No.	Category	度数	%
1	強く思う	69	80.2%
2	どちらかと言えば思う	16	18.6%
3	どちらとも言えない	0	0.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	1	1.2%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



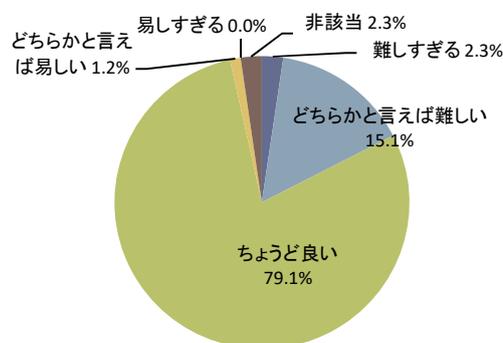
Q14 この授業の進度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	速すぎる	1	1.2%
2	どちらかと言えば速い	6	7.0%
3	ちょうど良い	79	91.9%
4	どちらかと言えば遅い	0	0.0%
5	遅すぎる	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



Q15 この授業の難易度は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	難しすぎる	2	2.3%
2	どちらかと言えば難しい	13	15.1%
3	ちょうど良い	68	79.1%
4	どちらかと言えば易しい	1	1.2%
5	易しすぎる	0	0.0%
6	非該当	2	2.3%
	合計	86	



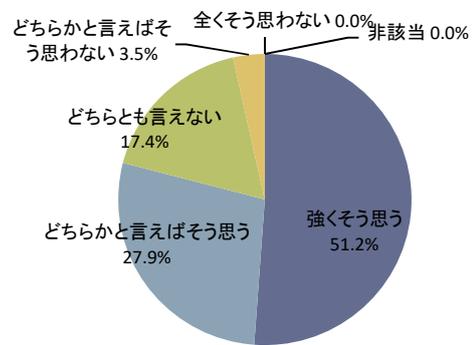
Q16 (大学院科目対象外) この授業の履修人数は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	多すぎる	0	
2	どちらかと言えば多い	0	
3	ちょうど良い	0	
4	どちらかと言えば少ない	0	
5	少なすぎる	0	
6	非該当	0	
	合計	0	

大学院科目対象外

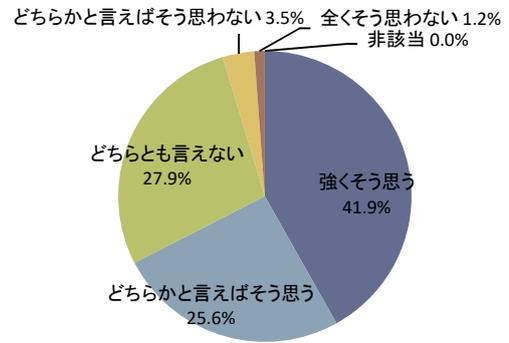
Q17 教室の設備は適切でしたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	44	51.2%
2	どちらかと言えばそう思う	24	27.9%
3	どちらとも言えない	15	17.4%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	3.5%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



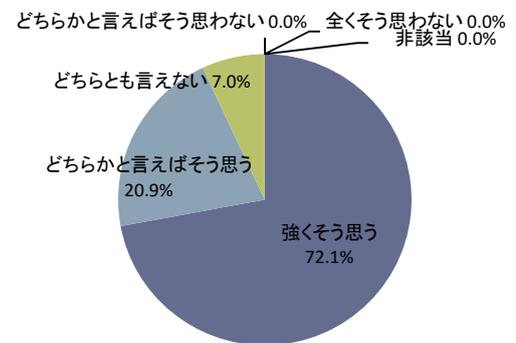
Q18 必要な資料は研究室・図書館などに備えられていましたか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	36	41.9%
2	どちらかと言えばそう思う	22	25.6%
3	どちらとも言えない	24	27.9%
4	どちらかと言えばそう思わない	3	3.5%
5	全くそう思わない	1	1.2%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



Q19 最後にこの科目の総合評価をききます。この授業を履修したことに満足していますか。

No.	Category	度数	%
1	強くそう思う	62	72.1%
2	どちらかと言えばそう思う	18	20.9%
3	どちらとも言えない	6	7.0%
4	どちらかと言えばそう思わない	0	0.0%
5	全くそう思わない	0	0.0%
6	非該当	0	0.0%
	合計	86	



3. 2018 年度前期「授業改善のための学生アンケート」みなさんの声に応じて

学生の皆さんが回答してくれたアンケート結果は、個人が特定されないように集計された後、自由記述も含めて、担当教員へすべて確実に届いています。この章では、アンケートを通じて届けられたみなさんの声に応じて、授業毎に担当教員からのメッセージをお戻しします。

① 学部科目 授業担当教員からのメッセージ

哲学Ⅰ	荒井 洋一	2018/金 4/前期
<p>■自由記述項目について</p> <p>授業は本来、対話と信じています。 学生諸君の文章はすべて読みました。 僕自身は楽しく講義を行った前期が懐かしく、感謝と共に思い浮かびます。 熱心に聞いてくれてありがとう。 学生諸君の励ましと批判を糧に、今後に生かしていきたいと思ひます。</p>		

メディア・デザインスキルB	大久保 成	2018/水 4/前期
<p>概ね、学生諸君からの好意的な感想に感謝している。こちらが伝えたいこと・学んで欲しいことが一定程度学生諸君に理解されていると感じることができた。同時に、Q20における「改善点」で「Mac を使うべきだ」との趣旨のご意見を 3 名ほどから頂いた。3 名というのは一見、少なくみえるが、回答者が 33 名であるので、10%の意見である。同時に、Q17・Q18 のポイントが相対的に低いことも教室設備等への不満が一定程度の受講生のみなさんにあつたことを示唆していると思われる。大学当局におかれては、こうした学生たちの意見を真摯に受け止め、必要な設備の維持・改修に努めてもらいたい。大学設備として十全に提供できないのであれば学生自身で IT 機器を所持できるよう、様々な形で支援をお願いしたいと思う。映像作品を制作するという本講義が好意的に学生諸君に受け入れてもらった。さらに制作環境への異議も申し立ててもらった。このことこそ、本学学生のクリエイティビティの発露である。企業等からの目先の要請に右往左往するのではなく、クリエイティブな活動こそ白百合女子大学の基礎力であることを再確認したい。ビジネス的にも今度コンテンツビジネスの増強がますます要請されることが予想される。本学の学部体制はまさにそれに応えることができる。今回のアンケート結果はこうした事実を改めて学生諸君に示唆してもらった。</p>		

西洋史Ⅰ	小沼 明生	2018/月2/前期
<p>全体として良い評価をいただいているとは言えそうで、その点は安心いたしました。ただ、若干名、授業の理解が困難だった学生がいるようですので（Q4.1人、Q6.Q7.2人、Q14.速すぎる3人、Q15.理解できなかった2人）、この学生についてどんな問題があったのか知りたく思います。</p>		

テーマ別研究Ⅰ/Ⅲ	山本 真吾	2018/木2/前期
<p>教室をゼミ形式になじむようにしてもらいたい、理由は受講生の顔と名前が把握できないからであるという意見を頂きました。机の配置をコの字型にするという工夫をすれば可能であり、効果も期待されますが、毎回机の配置を変えたり戻したりするもの煩雑でもあるので、受講生全体に意見を聞いて実施の適否を判断したいと思います。</p>		

社会言語学	三宅 ひろ子	2018/木3/前期
<p>■<u>Q2の授業以外の学習について</u> 例年よりも多めに宿題を出したのですが、まだ授業外での学習時間が少ないようです。質・量ともに見直したいと思います。</p> <p>■<u>Q20の授業について良かった点、改善してほしい点</u> ・PowerPointのスライドの切り替えが早く、ノートをとれないという学生がいました。授業中、適宜、確認をしたいと思います。 ・提出し忘れた宿題を受け取ってほしい、という要望がありました。解答の提示や解説を終えた後の提出物は、やはり受け取ることは難しいように感じます。（自由記述については受け取っています）</p>		

コミュニケーション概論Ⅰ	三宅 ひろ子	2018/木4/前期
<p>■<u>Q20の授業について良かった点、改善してほしい点</u> ・「例を話してくれて分かりやすかった」というコメントがありました。これからも、皆さんの日常生活を想像しながら、身近なことで例え話をするよう心掛けたいと思います。 ・私語（特に後方座席）については、机間巡視をより多く取り入れて注意するようにします。</p>		

ライティングⅠ	横田 由理	2018/月2/前期
<p>ほとんどの項目が「科目別平均」を下回っており、満足度が「科目別平均」が4.14のところがこの授業は4.05と微差だったのが少しは救いだったが、全く予期していない結果で驚いた。3限目にある同じ科目と同じように進めていただけに、評価の差が意外だっ</p>		

た。しかし、「指示がわかりにくかった」という意見があったため、これは要注意だと反省した。授業準備に時間がかかるため、このような評価で沈鬱な想いになったが、「一人一人の解答に丁寧に添削してくれた」「一人一人しっかり添削していただけて良かった」といった意見には救われた気がした。後期は内容が少し変わるのでみんなにもう少し満足してもらえる授業を展開したいと思う。

ライティング I**横田 由理****2018/月 3/前期**

Q19 の満足度が 4.42 と、「科目群別」、「授業形態別」共に平均を上回っており、一応、クラスの大多数に、まず満足してもらえる授業ができたようで良かったと思った。Q20 の自由記述欄には「楽しかった」、「ライティングの書き方がよく理解できた」などの意見のあって良かったと思ったが、「少々かんたん」という意見と「もう少し書く時間を増やしてほしい」という意見があり、これはいつものことながら、クラスの中になんか習熟度の異なる人たちが一緒にいるからではないかと思いつつ、みんなに満足のいく授業にするため、後期は何らかの工夫をしなければならないと思っている。

総合英語 I**横田 由理****2018/金 2/前期**

例年と同じように授業を進めているつもりであったが、今回初めて満足度も他の項目も平均を下回ってしまった。テキストが変わったことが要因となっているのかもしれないが教授内容を変えなければと思った。Q7、Q11 の「わかりやすかった」という項目の評価が悪かったが、自由記述欄には「先生の説明が丁寧でとてもありがたかったです。」「説明がわかりやすかったです」というコメントがあり、クラス内でかなり差があることが再認識された。後期はこのような点にも留意しつつ、より良い授業を目指したいと思う。

アメリカ文学講義 B**横田 由理****2018/金 3/前期**

受講者が 3 人というクラスだったのでこのような 5.0 の多い、満足度 5.0 という結果になったのだろうと思われる。しかし、受講者人数、進度に不満があった点は来年度に向けて考慮すべき点だと思った。昨年度の受講者より人数が激減した要因は何かとか、テキストの選択など再考慮したいと思う。

② 大学院科目 授業担当教員からのメッセージ

投影法特論	小山 真弓	2018/火3/前期
<p>■ <u>Q5② 「授業内容がシラバスに沿っていたか」</u> について</p> <p>どちらとも言えないという回答もあり、内容を再度検討し、正確に事前情報として提供したい。</p> <p>■ <u>Q14 「授業進度」、Q15 「授業の難易度」</u> について</p> <p>例年、進度が速くやや難解という意見もみられたが、今年は講義内容をやや工夫し、改善できたと思います。今後にも活かしたい。</p>		

③ FD 推進委員会からのメッセージ

「授業改善のための学生アンケート」をはじめ、よりよい学びについて考える様々な機会を提供していく役割を担っているのがFD 推進委員会です。FD 推進委員会からは、アンケートそのものの適切性についての設問(Q23)で寄せられた学生のみなさんの声に応えます。また、アンケート結果からみられる全学的な傾向を踏まえて、みなさんへよりよい学びのためのメッセージをとどけます。

「Q23① この授業を評価するにあたって、このアンケートの質問項目は十分かつ適切だと思いますか。」に対する回答は、以下のとおりでした。

「はい」	10,741 件	79%
「いいえ」	203 件	1%
「無回答」	2,665 件	20%

「Q23② (Q23①で「いいえ」と答えた人のみ) 欠けている項目、不適切な項目などを、具体的に記述しなさい。」に対して、次のようなコメントが寄せられました。

アンケートについてのコメント

先生が2人の場合はどのように回答すればよいでしょうか。(2件)

1 つの授業を複数教員で担当している場合には、授業全般について回答する場合と、特定教員の担当部分について回答する場合があります。アンケート実施時の教員の指示にしたがって回答してください。

アンケートが教員にとっても学生のみなさんにとってもその先のよりよい学びにつながるツールとなるよう、またそのことが実感できるよう、FD 推進委員会ではこれからも実りあるアンケートの在り方について検討してまいります。

4. 2018 年度前期 「授業改善のための学生アンケート」 顕彰授業

2010 年度より全学で実施してまいりました「授業改善のための学生アンケート」に、2017 年度より集計結果を活用した顕彰制度が導入されることになりました。アンケートの結果は、これまでも個々の授業改善に役立てられてきましたが、今後は高評価を得た授業を公表し、その授業の優れている点を大学全体で共有してまいります。

授業のあり方は授業の数だけありますが、顕彰された授業における工夫を知ることにより、よりよい学びのためのヒントが得られる機会になればと願っています。

2018 年度前期 顕彰授業 → [こちらをご覧ください](#)

2018 年度前期 顕彰授業における工夫 → [こちらをご覧ください](#)